

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所の JMTR 原子炉施設に係る廃止措置計画の認可申請に関する事業者ヒアリング（17）

2. 日時：令和2年10月7日（水）11時00分～11時50分

3. 場所：原子力規制庁10階南会議室（テレビ会議にて実施）

4. 出席者：

（1）原子力規制庁

原子力規制部 研究炉等審査部門

細野企画調査官、田中主任安全審査官、有吉上席安全審査官、上野管理官補佐、佐々木技術参与

（2）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

材料試験炉部 廃止措置準備室 担当者 他4名

5. 議事要旨

（1）原子力機構から、JMTR廃止措置計画について資料に基づき説明があり、原子力規制庁から、以下のとおりコメントを伝えた。

（資料1について）

○新設するUCL系統の小型冷却設備の設置期間について、部内で十分に検討を重ねた上で1年以内を目標とすること、さらに製品納期の短縮も目指していくことは理解した。

○今後の廃止措置計画の補正提出に向け、面談を活用して補正の内容を説明し、準備をしていくこと。

（資料2について）

○新設するUCL系統の小型冷却設備について、耐震性をBクラス相当としているが、廃止措置段階に伴う維持機能の変更や機能を喪失した時に代替措置を行うこと等も踏まえ、廃止措置段階で必要な機能を検討すること。

○ディーゼル発電機について、性能維持設備から除外し一般設備として保管管理するとしていることは理解するが、例えば、解体するまでの期間中に火災源とならないよう適切に管理していくこと等について、他の性能維持設備への影響について管理方針を説明すること。

（2）原子力機構から、了解した旨回答があった。

6. 配付資料

・原子力機構からの配付資料

資料1 JMTR原子炉施設に係る廃止措置計画について（面談における確認事項への回答）

資料2 JMTR原子炉施設に係る廃止措置計画認可申請書の補正内容について